

CD クリーナーの効果(1)

—CD 再生への適用—

1. 始めに

LAN アクライザーの感想文を送りましたところ、CD クリーナーなる非売品のアクセサリーを頂きました。メーカーの説明によれば、多様な使い道があるということなので、順次試していきます。

2. CD クリーナーの試聴計画

CD クリーナーについてのメーカーの説明は以下のとおりです。

「天然皮革のスエードで袋状に縫製されています。皮革にはダンピング剤が薄く含浸されています。ごくわずかですので跡がついたり、ベタベタすることは有りません。主な使用目的は CD の表面やレコード面を軽く拭くだけで音質がアップします。掃除したり磨いたりするというより軽く触れる、なでるくらいで充分です。また音質に違和感があるなら普通の布やクリーニングクロスで拭けば簡単に拭き取れますから心配は要りません。

主なる使用目的は CD,レコードの音質アップですが、実はオーディオ機器のパネルや表示部、トーンアーム、シェルなどを拭く事ことで音質アップがあるので驚かれると思います。」



今回は、CD 再生に適用してみます。

下記 CD について、クリーニング前後の CD を EMT981 で再生して比較します。

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他

フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザビエ・フィリップス (チェロ)

Hyperion CDA67993

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ 1 番～6 番
アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン)

これらの CD の演奏はいずれも演奏会で聴いてきたものが含まれています。

3. CD クリーナーの試聴結果

試聴開始前に CD は、いつものとおり、眼鏡拭きの布で表面の埃をぬぐっておき、最初に CD クリーナーの処理なしで聴いておき、処理後に聴き直します。

ベートーヴェンのチェロソナタでは、まず CD の印刷面(非光学読み取り面)だけ処理しますと、チェロの音が若干滑らかになり、ピアノの響きも輝きを増します。ついで、光学読み取り面も処理しますと、チェロのボウイングに力強さが出てきますし、ピアノの打鍵も強靱になり、余韻も豊かになります。演奏会の記憶はかなり薄れていますが、生演奏で感じるダイナミズムが蘇ってくるような印象です。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタでは、まず CD の印刷面(非光学読み取り)だけ処理しますと、イブラギモヴァのヴァイオリンのボウイングの動きが分かりやすくなり、ピチカート之余韻が出てきます。ついで、光学読み取り面も処理しますと、イブラギモヴァのヴァイオリンの弱音から力強いボウイングまでのダイナミズムが出てきます。演奏会の記憶はかなり薄れていますが、生演奏で感じる弱音の美しさや胴鳴りのダイナミズムが蘇ってくるような印象です。

4. まとめ

EMT981 による CD 再生で CD クリーナーの処理の効果を認めました。

以上